

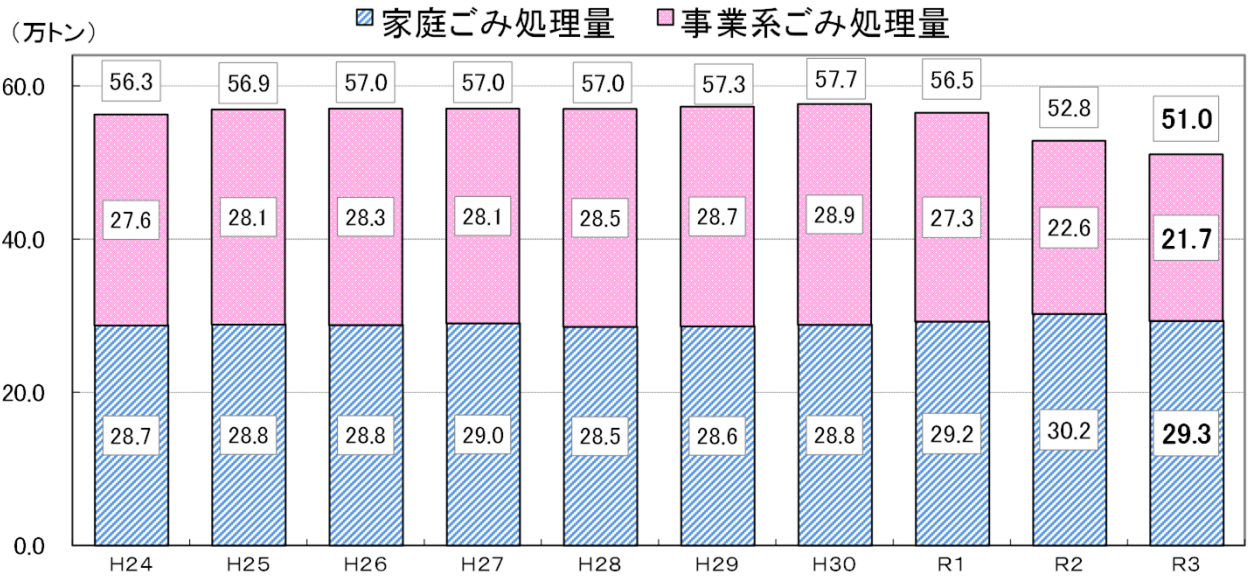
# 令和3年度 決算に係る参考資料

	頁
1 ごみの処理量の推移 .....	1
2 温室効果ガス排出量の状況 .....	2
3 再生可能エネルギーの導入状況など .....	3
4 博多湾の環境の状況 .....	4
5 工場運営費 .....	5
6 環境市民ファンドの概要 .....	6
7 事業系ごみ資源化推進ファンドの概要 .....	7
8 補助金等の支出状況 .....	8

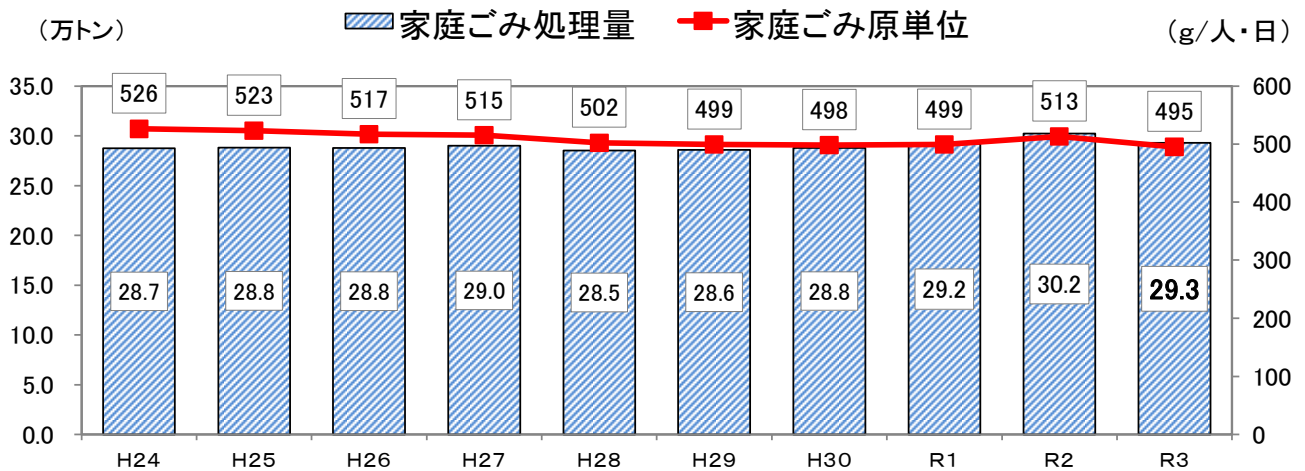
環境局

# 1 ごみの処理量の推移

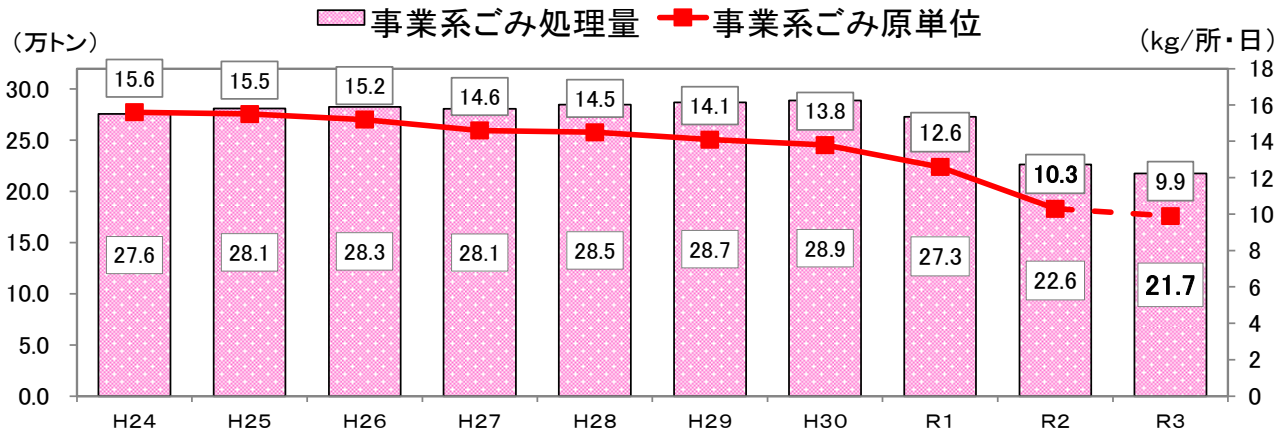
## (1) ごみ処理量について



## (2) 市民1人1日あたりの家庭ごみ処理量(家庭ごみ原単位)



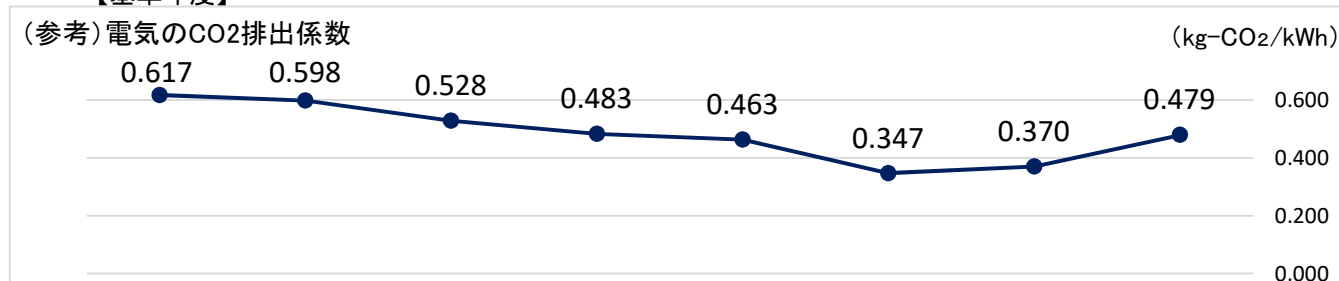
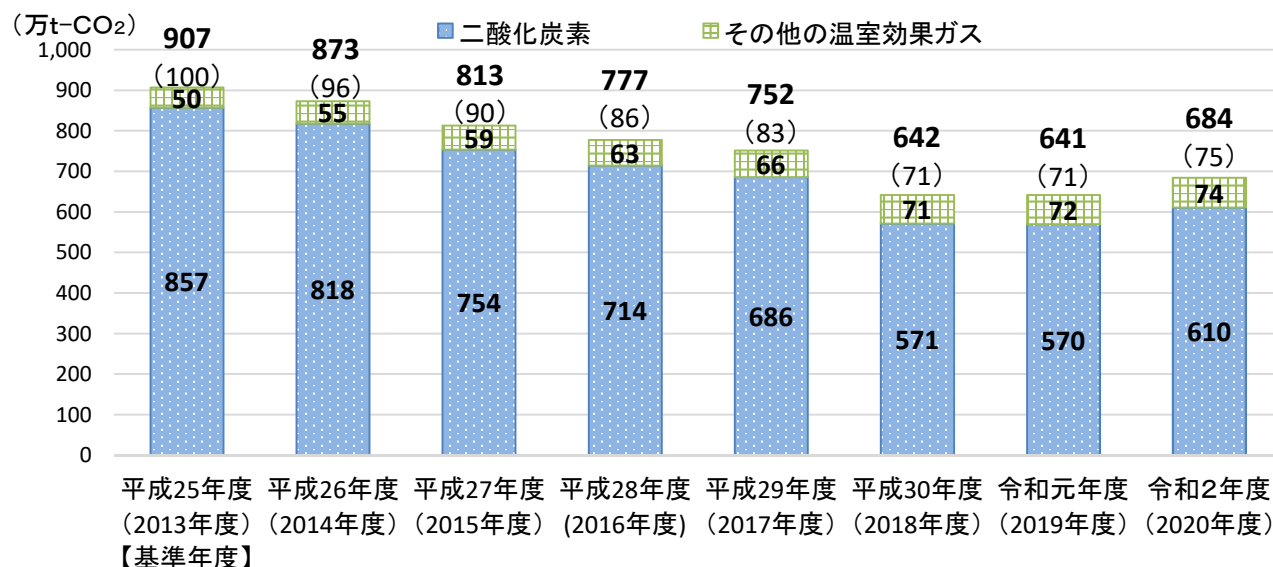
## (3) 1事業所1日あたりの事業系ごみ処理量(事業系ごみ原単位)



※令和3年度の事業系ごみ原単位については、令和3年度の事業所数（法人市民税における課税事業所数）が公表前であるため、令和2年度の事業所数を用いて算出している。

## 2 温室効果ガス排出量の状況

### (1) 温室効果ガス排出量の推移



( )内の数値は平成25(2013)年度を100としたときの指数

※四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が一致しない場合がある

※電気のCO<sub>2</sub>排出係数は、環境省・経済産業省公表「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)」の九州電力㈱の値

※電気のCO<sub>2</sub>排出係数の増加(0.370 → 0.479)要因(九州電力㈱ホームページより抜粋)

2020年度は、販売電力量が減少した中、原子力発電所の発電電力量が定期検査に伴い減少したこと、火力発電所の発電電力量が増加したことから前年度に比べCO<sub>2</sub>排出係数が上昇しました。

### (2) 3部門における温室効果ガス排出量の推移

	平成25年度 (2013年度) 【基準年度】	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和2 /H25年度比
温室効果ガス排出量 (万t-CO <sub>2</sub> )	907	873	813	777	752	642	641	684	▲25%
二酸化炭素排出量 (万t-CO <sub>2</sub> )	857	818	754	714	686	571	570	610	▲29%
家庭部門 (万t-CO <sub>2</sub> )	257	236	212	196	189	136	137	168	▲35%
業務部門 (万t-CO <sub>2</sub> )	302	281	242	221	209	153	160	191	▲37%
自動車部門 (万t-CO <sub>2</sub> )	186	191	186	186	184	182	180	160	▲14%

### (3) エネルギー消費量の推移

	平成25年度 (2013年度) 【基準年度】	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和2 /H25年度比
エネルギー消費量 (万GJ)	7,944	7,802	7,740	7,720	7,598	7,726	7,019	6,612	▲17%
世帯あたりの エネルギー消費量 (GJ/世帯)	27.8	25.8	25.2	24.4	23.9	21.0	20.2	20.1	▲28%
業務系建物床面積あたりの エネルギー消費量 (GJ/m <sup>2</sup> )	0.94	0.91	0.88	0.88	0.87	0.78	0.78	0.73	▲22%

### 3 再生可能エネルギーの導入状況など

#### (1) 市有施設の再生可能エネルギー等による発電状況(令和3年度)

( )内の数値は前年度増減

種別		施設数	発電出力 (kW)	発電量 (kWh)	備考
太陽光 発電	メガソーラー	6	6,519	8,747,128 ( △663,763 )	・大原メガソーラー発電所 ・蒲田メガソーラー発電所 ・青果市場太陽光発電所 ・西部水処理センター太陽光発電所 ・新西部水処理センター太陽光発電所 ・蒲田第2メガソーラー発電所
	その他	193 ( +4 )	2,599 ( +22 )	2,925,544 ( +65,765 )	・公民館 ・小中学校 等
バイオ マス 発電	廃棄物発電	4	80,900	250,322,194 ※ ( △6,982,197 )	・清掃工場 [東部、西部、臨海、福岡都市圏南部]
	その他	2	2,099	12,890,251 ( +2,434,400 )	・水処理センター[中部、和臼]
小水力発電		3	222	1,151,234 ( +119,469 )	・浄水場[瑞梅寺、乙金] ・曲淵ダム
合計		208 ( +4 )	92,339 ( +22 )	276,036,351 ( △5,026,326 )	屋根貸し等による事業者設置を含み、 発電量は推計発電量を含む

※福岡都市圏南部の発電量(kWh)は、福岡市からの搬入量により算定

令和3年度導入施設

・太陽光発電 : 早良南地域交流センター、博多区役所、南当仁公民館、柏原公民館

#### (2) 住宅用エネルギーシステム導入補助によるシステム設置状況

年度			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
太陽光 発電	導入基数	年間	363	211	145	141	170
		累計	7,837	8,048	8,193	8,334	8,504
	発電出力 [kW]	年間	1,798	974	778	773	813
		累計	34,999	35,973	36,751	37,524	38,337
蓄電池 [基]	年間	140	273	282	229	317	
V <sup>2</sup> H (注1) [基]	年間	-	-	-	7	8	
燃料電池 [基]	年間	177	206	264	340	200	
E <sup>M</sup> S (注2) [基]	年間	413	385	293	236	324	
合計 [基]	年間	1,093	1,075	984	953	1,019	

(注1) 電気自動車と住宅の相互で充電電を行うためのシステム(Vehicle to Home)のこと。

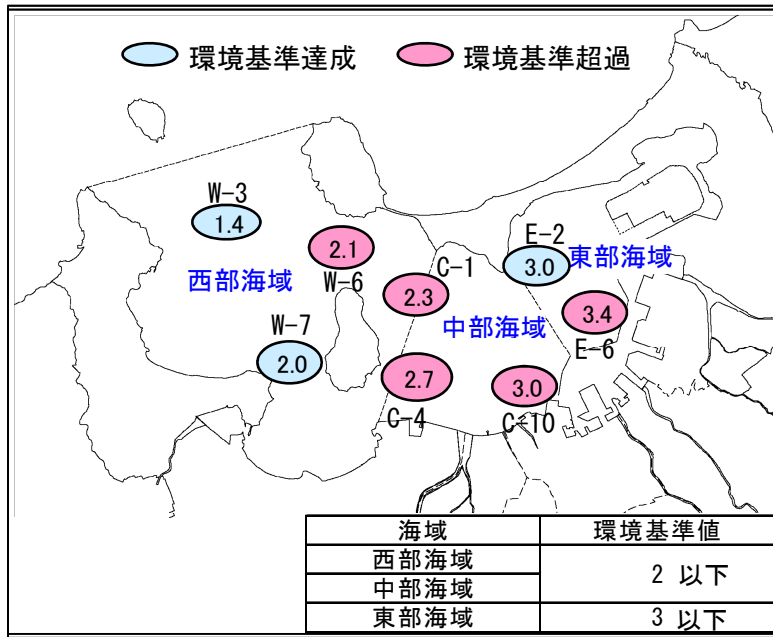
(注2) 電気の使用状況の確認や、照明・空調機器の制御などができるエネルギー・マネジメント・システム(Energy Management System)のこと。

(注3) 基数は、補助にあたり導入が図られたシステムを含む。

# 4 博多湾の環境の状況

## (1) 水質

COD75%値の環境基準達成状況(単位:mg/L)



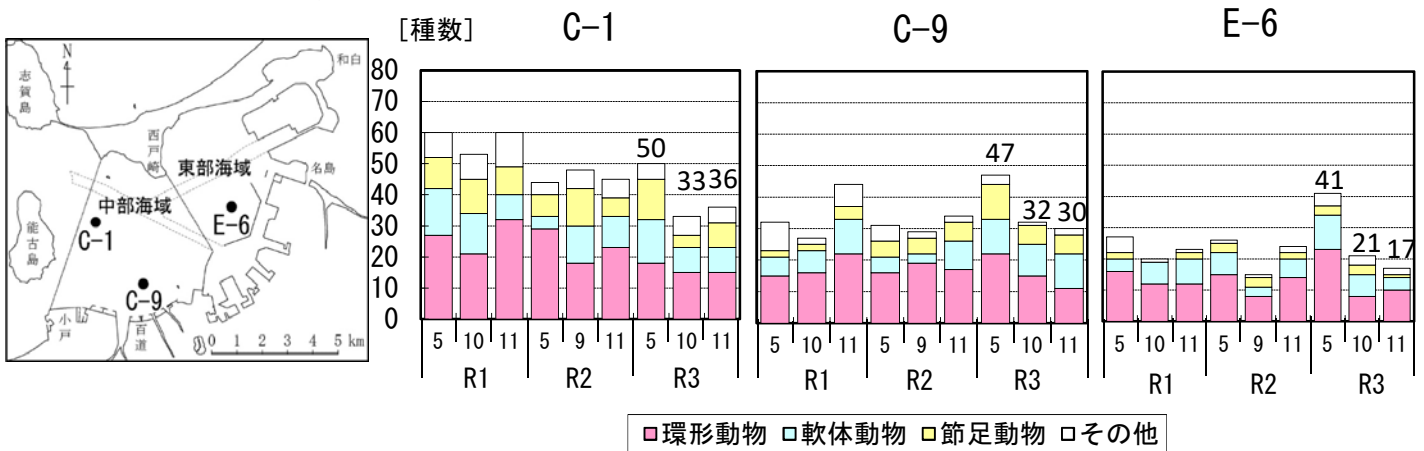
全窒素の環境基準達成状況(単位:mg/L)

海域	環境基準値	令和3年度
西部海域	0.3以下	0.25
中部海域	0.6以下	0.41
東部海域		0.60

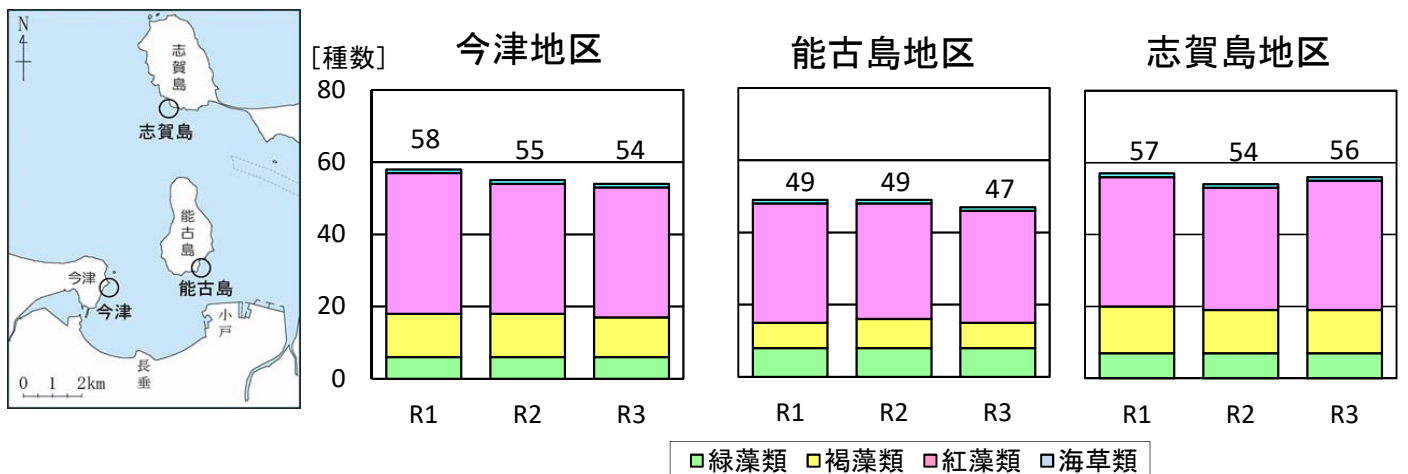
全りんごの環境基準達成状況(単位:mg/L)

海域	環境基準値	令和3年度
西部海域	0.03以下	0.016
中部海域	0.05以下	0.023
東部海域		0.034

## (2) 底生生物の種数



## (3) 藻場(海藻・海草類)の種数



## 5 工場運営費

工場運営費は、令和3年度の各工場運営に直接かかった経費であり、施設の減価償却費等は含まない。

区分	福岡市			(株)福岡 クリーンエナジー 東部工場	福岡都市圏南部 環境事業組合 福岡都市圏 南部工場
	西部工場	臨海工場	2工場平均		
運営方式	直営	直営		PFI的手法	DBO方式
施設概要	施設規模 (トン/日)	750トン (3炉)	900トン (3炉)	900トン (3炉)	510トン (3炉)
	稼働開始 (経過年数)	平成4年4月 (30年)	平成13年4月 (21年)	平成17年8月 (17年)	平成28年4月 (6年)
	発電定格能力 (kW)	10,000	25,000	29,200	16,700
[A] 処理量 (トン)	113,306	179,078	146,192	151,044	108,055
[B] 工場運営費 (千円)	1,407,050	1,570,338	1,488,694	1,973,317	726,535
トン当たりの工場運営費 (円/トン) (B/A)	12,418	8,769	10,183	13,064	6,723

[A]処理量：令和3年度ごみ処理量

[B]工場運営費：令和3年度焼却処理及び焼却灰運搬に直接かかった経費

(工場人件費、委託料、光熱水費、薬品費、修繕料、他)

## 6 環境市民ファンドの概要

### (1) 設置の目的

「環境市民ファンド」は、地域やボランティア団体など市民の環境保全に関する実践活動を支援するとともに、地域に根ざした環境保全活動を展開することにより、本市における環境の保全を図ることを目的とする。

### (2) 設置年月日

平成17年4月1日(福岡市環境市民ファンド条例)

### (3) 対象事業及び充当額

(単位:千円)

	ファンド充当額
<b>1 3R(リデュース・リユース・リサイクル)</b>	<b>512,952</b>
3Rステーション事業	80,186
地域集団回収等報奨制度	189,537
使用済小型電子機器回収事業	500
3R推進事業	8,692
生ごみリサイクル促進事業	1,119
蛍光管等の拠点回収事業	14,867
拠点での資源物回収事業	218,051
<b>2 温室効果ガスの排出削減</b>	<b>191,095</b>
福岡市地球温暖化対策市民協議会 (ECOチャレンジ応援事業等)	5,679
緑のカーテンプロジェクト	2,257
次世代自動車の普及促進	27,682
住宅用エネルギーシステム導入促進事業	153,571
再生可能エネルギー由来電力の利用促進	1,906
<b>3 自然環境の保護(地域清掃を含む)</b>	<b>57,764</b>
ラブアース・クリーンアップ事業	4,485
博多湾環境保全計画の推進 ※市民共働モニタリング調査	2,236
生物多様性ふくおか戦略の推進	12,210
地域ぐるみ清掃推進事業等	35,263
不法投棄対策 ※地域活動報奨金、地域活動支援	3,570
<b>4 複合的な活動(上記3分野を含む)</b>	<b>19,319</b>
環境フェスティバル	9,369
環境教育推進経費等 ※環境学習支援促進	4,823
未来へつなげる環境活動支援事業	2,278
保健環境学習室事業 ※交流支援	2,849
合 計	781,130

### (4) 積立額

(単位:千円)

区 分	積立額	摘 要
寄 附 金	633	個 人 企業等
一 般 財 源	449,234	
合 計	449,867	

### (5) 基金の状況

(単位:千円)

令和2年度末 現 在 高	令和3年度中			令和3年度末 現 在 高
	繰 入	繰 出	差引増減(△)	
542,483	449,867	781,130	△ 331,263	211,220



## 7 事業系ごみ資源化推進ファンドの概要

### (1) 設置の目的

事業系ごみの資源化に向けた事業者の取組みを支援することにより、循環資源の更なる利用を促進し、循環型社会の形成に資することを目的に設置。

### (2) 設置年月日

平成23年10月1日  
(福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド条例、設置期間は令和8年3月31日まで)

### (3) 対象事業及び充当額

		(単位:千円)
		ファンド充当額
<b>1</b>	<b>事業系ごみの減量・リサイクルに関する普及・啓発事業</b>	34,444
	事業所ごみ減量再資源化指導	1,824
	事業系ごみ資源回収推進事業	298
	事業系食品廃棄物3R推進事業	7,305
	事業系古紙資源化推進事業	25,017
<b>2</b>	<b>事業系ごみの減量・リサイクルに取り組む事業者への支援事業</b>	12,930
	事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業	11,135
	事業系一般廃棄物資源化施設の整備支援	24
	古紙分別保管場所等整備支援事業	1,771
<b>3</b>	<b>その他必要と認める事業</b>	57,801
	自己搬入事前受付システム再構築	48,293
	事業系ごみの資源化調査	8,090
	事業系ごみ資源化推進ファンド運営委員会	320
	循環型ごみ処理システムの構築	1,098
合 計		105,175

### (4) 積立額

基金には、基金の設置目的のための寄附金、運用益金及び歳出予算をもって定める額を積み立てる。

なお、歳出予算をもって定める額は、減免制度の見直しに伴うごみ処理手数料収入の33%に相当する額とし、20億円まで積み立てた。今後の積立額は寄附金及び運用益金とする。

			(単位:千円)
区 分	積立額	摘 要	
寄 附 金	606	個 人 企業等	506 100
運 用 益 金	3,822	事業系ごみ資源化推進ファンド利子収入	
一 般 財 源	-		
合 計	4,428		

### (5) 基金の状況

					(単位:千円)
令和2年度末 現 在 高	令和3年度中			令和3年度末 現 在 高	
	繰 入	繰 出	差引増減(△)		
1,274,134	4,428	105,175	△ 100,747	1,173,387	

		(単位:千円)	
積立額	積立額	平成23年度～令和2年度	令和3年度
	累 計		
		2,018,092	2,022,520
処 分 額		743,958	105,175
年 度 末 残 高		1,274,134	1,173,387



## 8 補助金等の支出状況

補助金及び負担金のうち、市民・事業者に対する補助を行っているもの。

(単位:円)

補助金等の名称	交付先等	最終 予算額	支出 済額	不用額
事業系ごみ資源化技術実証研究 等支援事業補助金	事業者、大学等	12,000,000	11,135,000	865,000
古紙分別保管場所整備支援 補助金	事業者	5,000,000	1,755,000	3,245,000
宅配ボックス普及促進事業 補助金	市民、住宅の管理 組合等	130,000,000	119,550,000	10,450,000
未来へつなげる 環境活動支援事業補助金	市民団体・ NPO法人等	2,829,000	1,586,000	1,243,000
併用世帯ごみ収集事業 補助金	一般廃棄物収集 運搬許可業者	3,960,000	3,616,520	343,480
地球温暖化対策市民協議会負担金				
福岡市住宅用エネルギー システム導入促進事業 補助金	市民	138,500,000	134,680,000	3,820,000
福岡市次世代自動車 普及促進事業補助金	市民・事業者等	26,600,000	26,600,000	-
合 計		318,889,000	298,922,520	19,966,480